

令和4年度大阪府立泉大津高等学校学校運営協議会（第2回） 議事録

日 時：令和4年12月15日（木）11:00～12:30

場 所：大阪府立泉大津高等学校 会議室

出席者：湯峯委員、西村委員、秋山委員、植野委員、佐藤委員、岡委員、  
中川校長、下澤事務長、林教頭、森岡首席

・授業見学 1－6地理総合

・議題

- ① 令和4年度学校経営計画の進捗状況について
- ② 令和4年度学校教育自己診断結果について

・質疑応答・意見交換

Q. 不登校の生徒は増えているのか？（委員）

A. 大阪府全体で考えても不登校の生徒の数は増えている傾向にある。本校では教育相談・支援委員会を中心として、保護者を含めて丁寧に対応している。（首席）

Q. 授業見学した先生は一人一台端末を活用して授業を行っていたが、端末をどれくらいの先生が活用できているか？またその負担感はどうか？（委員）

A. 3～4割程度の先生が積極的に活用している状況である。良い教材を教員同士で共有していけば、負担感の軽減につながると考えている。（校長）

A. 使い始める最初のハードルは高いが、使用頻度が高くなれば、負担感は軽減されていくと感じている。（首席）

Q. 生徒が中心となって学校行事を企画、運営していくことが大事だと考えるが、実状はどうか？（副会長）

A. すべての企画運営を生徒に任せていくのは一筋縄にはいかないが、リーダーになる生徒を育成していくことは大事なことだと考えている。誰かに任せっぱなしにするのではなく、なぜこの行事を行っているのか、学校行事を自分ごととして生徒が考えていけるような仕組みも必要だと考えている。（首席）

A. 小学校、中学校でのグループワークのおかげで、自分の意見を発信する能力が高い生徒が多い。教師が生徒にうまく声をかけ、生徒の「意見をまとめる力」や「創りあげる力」を伸ばすことができれば、主体的に行事に取り組む生徒が多くなっていくと考えている。（教頭）